骨段中学校校郎・被算のしおり

丹後中学校の校歌の歌詞と校章デザインは全国公募を実施し、校歌の作曲については地域にゆかりのある人に協力をお願いし制作しました。校歌・校章に込めた作者の思いをご紹介します。

被歌

作詞者 山副 美佐子 さん (京丹後市丹後町在住)

義務教育を仕上げ、人格形成の基礎基本を培う中学校が、地域の人々に信頼されて、子弟を通わせたいと心底思われるような学校であったならどんなに素晴らしいことか。

そんなことを思いながら私なりの理想の中学校像をえがいてみました。

作曲者 丸田 のりこ さん (元間人中学校教諭・丹後中学校教諭)

間人中学校で勤務させていただく中で自然環境の素晴らしさや生徒達の明るく前向きなエネルギーや保護者や地域の方のご支援を日々感じております。

地域にとっても大切な宝物である学校を、今後も発展させていきたいという思いをこめ作曲しました。 このメロディは校舎の中から"いちがおの山"を見た時に浮かんできました。それをモチーフに生徒 達にとって歌いやすい音域であり、覚えやすいメロディであることを心がけて作りました。

4月から丹後中学校として新しい一歩を踏み出します。みなさんに覚えていただき、歌っていただけると嬉しく思います。

微草

制作者 井口 やすひさ さん (群馬県高崎市在住)

全体の形は、丹後中学校のローマ字頭文字「T (人)」をモチーフに、中学校の「中」の文字を表し、2 校の統合した貴重な歴史や伝統・勉学・スポーツ・芸術・文化のあらゆる情報交流発信の"絆"と役割をイメージデザイン化し、親の温かい愛情に包まれ、生徒に愛され、親しまれ、安心・信頼され、心豊かなエコ環境にやさしい地域の学び舎と生き活き共生し、様々な分野で活動・活躍し、将来の"夢と希望"に向かって更なる飛翔・発展する明るい元気な活気にあふれる「丹後中学校」の輝く姿をアピールしています。



丹鹤中学被被歌



三、 明ぁ学ょ今い繋っ悠ら 鍛き揺る今い思く景け あ 日たび 久き ぎ 松き勝き え ぎ あ へあ学なゆ 学なのの あ な 0 び < わ 5 き び OW わ 舎や姿が丹た 舎ゃ 歴れ れ 史。 ら 夢ゅ高た い にの後 声き のを ころ み 0 は 0 0 凜り松っ 丹た育はを ち 丹^{たんご}な لح 凛り島も 9 後がむ ざ め 尊らづ し 中。 ざ き 中ゥ交ゕし Š 学がく 学がう 抱だ き

あ信ん敬い今と竹は依い あ頼ら愛ぁ 野の遅ち 学な川がが び 尾ぉ わ 笑え心を舎ゃ豊かの れ 顔がひ ら にか のあろ に降れ 丹たふが 流なか 後まれ るが n 中する P て